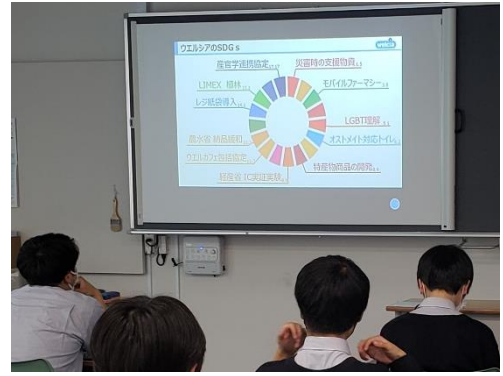


○ウエルシア・横浜薬科大学講演会の様子と生徒の感想



☆講演会を聴講した生徒からウエルシアの方へのお礼と感想

3年 U.R さん

今回の講演で感じた事は2つありました。

1つ目は、ウエルシアでは様々な工夫をされているということです。お客様の生活を楽にすることや喜んでもらうために、時間をかけて取り組んでいるそうです。商品開発に関しては、長い流れの中で色々な人と関わりより良い商品にするように試行錯誤されていました。また、商品パッケージのデザインにもこだわっているそうです。消費者の目につきやすいパッケージにし、印象を大きく変えることは、売りに繋がる大事なことだと思いました。

2つ目は、専門の勉強をしていなくても、就職後に活躍できるということです。文系の大学出身でも理系の企業で働き、活躍できるのはすごいことだと感じました。大学で学んでいない分野で活躍するのは一種のチャレンジだと思います。社会人になってからチャレンジして活躍することはやりがいがあり、自分の成長にも繋がると感じました。

私は、大学で学んだことを仕事に繋がりたいと思っています。機会があれば私も専門ではない仕事で活躍できるような社会人を目指したいと思いました。

3年 I.A さん

この度は、お忙しい中講演を行ってくださりありがとうございました。

今日のお話を聞いて、高齢化が進んでいるからこそ地域密着型の薬局が必要なのだと思いました。「薬局だから薬を提供すれば良い」という考えではなく、地域の人同士が話せるラウンジを作ったりするなどという取り組みにとっても魅力を感じました。地域から SDGs という世界的な取り組みまで行う企業が、これからも増えていけば良いと思いました。薬は生きていく上で欠かせないものだからこそ、様々な人のニーズに合わせた展開をされていることにも関心を持ちました。

また、薬局が医療のパンクを防ぐ役割を担っていることを知りました。現在、新型コロナウイルスの影響で、医療崩壊の懸念がされているからこそ、今後薬局業界がとても重要な役割を担っていくのだと感じました。

私もこれから先、社会貢献のため自分に足りないものを補う為に大学で勉強していきたいと思っています。



3年 A.Yさん

薬局には何度もお世話になっていますが、多くの場合薬を受け取る場所のみであると認識していました。welciaさんでは、医薬品の販売や調剤などのお仕事の他に、地域貢献としてコミュニティーの場を作っていたり、大学との連携で新商品を作っていたりと、幅広く活躍されていたのすごかったです。私も、welciaさんのように表立った業務内容の裏で色々な分野に関わっている企業や、多くのところに手を伸ばせる場所で働きたいと思いました。

現代の社会には、たくさんの選択肢がありますが、時代の流れに任せるのではなく、自分心からやりたいと思える仕事を探していきたいです。大学受験をする意味を今も模索している最中なので、とても参考になりました。今回はお話しいただきありがとうございました。

3年 Y.Mさん

本日はお忙しい中このような講演会を開いてくださりありがとうございます。

私は近所にある薬局で薬をもらうことが多く、その度に薬の説明などを聞いています。お医者さんでなくても専門職の方々だからこそ、様々な観点から私たちに伝わりやすいように説明してくれているのだと知ることができました。薬剤師さんはいろいろ丁寧に教えてくださるのですが、質問するのが恥ずかしく、聞きづらいと感じている部分もありました。本日の講演会を受けて分からないことがあったら質問してみようと思います。

頭痛や腹痛などの鎮痛剤を選ぶ時に、種類が多くて中々選べずにいました。一般的には、「第三類」よりも「第二類」のように、書かれている数字が低い薬の方が高い効果があることを教えていただきました。（「第一類」は薬剤師の処方が必要）今後の買い物の参考にさせていただきたいと思います。

3年 K.Tさん

ウエルシア薬局の地域貢献のための取り組みがたくさんあることに驚いたが、私が1番興味を持ったのはプライベートブランドの商品開発についてだ。私は将来、商品開発に携わりたいと考えている。そこで、商品開発の工程についてのお話はとても興味深かった。商品開発の工程はメーカーなどの市場調査から始まり、一緒に開発するメーカーの選定と価格、流通などの交渉の商談があり、試作品の作成と社内会議を繰り返した後、販売に向けてパッケージのデザイン作成と工場の安全チェックがあるという。販売までの行程はたくさんあり、私が考えていたのは主に商談と社内会議だけだったので驚いた。どの工程にも言えるのは誰かと話し合いがあるということである。もちろんプレゼンなどもあると思うので、コミュニケーション能力が問われると思った。私は人と話をすることはとても好きなので、コミュニケーション能力をこれからも伸ばしていきたいと思う。

また、最後のお話で、大学は自分の理想を実現するためにいくところだというお話があった。私はデザイン系の学部に進みたいと考えているが、全く知識や経験がないため、自分が進んでもいいのかと迷っているところがあった。しかし、苦手な分野を補うためにも大学はあるので、自分のやりたい分野に進もうと思った。そのために今できることをしていきたい。